

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公表番号】特表 2006-523059 (P2006-523059A)

【公表日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【年通号数】公開・登録公報 2006-039

【出願番号】特願 2006-506442 (P2006-506442)

【国際特許分類】

**H 0 4 B 1/30 (2006.01)**

**H 0 4 L 27/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B 1/30

H 0 4 L 27/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 12 日 (2007.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

未補正復調信号を生成するように、受信した信号を復調する手段と、  
補正信号用の出力を有する直流オフセット電圧補正回路と、  
前記出力に結合されたデータ再生回路とを備え、  
前記直流オフセット電圧補正回路が、  
前記未補正復調信号用の入力と、  
受信したデータを検出するためのビットスライサと、  
ノイズ及び直流オフセットを差し引いた前記復調信号を再生成するためのフィルタリング手段と、

直流オフセット電圧を生成するように、前記未補正復調信号から前記再生成復調信号を差し引く減算手段と、

前記直流オフセット電圧を前記ビットスライサにフィードバックするためのフィードバック回路とを備える受信機。

【請求項 2】

前記フィルタリング手段が、少なくとも全受信チェーンの伝達関数と実質的に同一の特性を有するローパスフィルタであることを特徴とする請求項 1 に記載の受信機。

【請求項 3】

前記未補正復調信号を少なくとも、前記フィルタリング手段を介した信号の伝送による時間遅延の持続時間だけ遅延させる遅延手段を備えることを特徴とする請求項 2 に記載の受信機。

【請求項 4】

前記フィードバック回路が、ローパスフィルタを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の受信機。

【請求項 5】

前記フィードバック回路が、推定ドリフト速度によって制御される可変帯域幅フィルタを含むことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の受信機。

【請求項 6】

前記未補正復調信号用の第 1 入力と、  
前記直流オフセット電圧用の第 2 入力と、  
前記ビットスライサと前記データ再生回路とに結合された出力とを有する、もう 1 つの減算段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の受信機。

【請求項 7】

復調信号中の直流オフセット電圧の補正の方法であって、  
前記復調信号の直流フリー推定値を得る段階と、  
直流オフセット電圧を得るために、前記復調信号の実質的に同時的なバージョンから前記復調信号の前記直流フリー推定値を差し引く段階と、  
前記復調信号から前記直流オフセット電圧を差し引く段階とを備える方法。

【請求項 8】

前記復調信号の推定値を提供するために、前記復調信号から前記オフセット電圧を差し引くことによって形成される差分信号をビットスライスする段階と、  
前記復調信号の直流フリー推定値を得るために、前記復調信号の前記推定値を濾波する段階とを備えることを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記オフセット電圧を濾波する段階を備えることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記復調信号の前記直流フリー推定値を差し引く前に前記復調信号を遅延させる段階を備えることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の方法。